

2022年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月4日

上場会社名 サコス株式会社
 コード番号 9641 URL <https://www.sacos.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瀬尾 伸一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役本社部門管掌 (氏名) 石川 忠
 四半期報告書提出予定日 2022年2月7日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3442-3900

(百万円未満切捨て)

1. 2022年9月期第1四半期の連結業績(2021年10月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|------|------|------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年9月期第1四半期 | 4,673 | 2.5 | 304 | 25.7 | 274 | 26.4 | 173 | 27.6 |
| 2021年9月期第1四半期 | 4,561 | 10.8 | 410 | 34.2 | 373 | 39.2 | 239 | 42.6 |

(注) 包括利益 2022年9月期第1四半期 175百万円 (28.1%) 2021年9月期第1四半期 243百万円 (43.2%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年9月期第1四半期 | 4.17 | 4.16 |
| 2021年9月期第1四半期 | 5.76 | 5.75 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2022年9月期第1四半期 | 22,044 | 11,162 | 50.0 |
| 2021年9月期 | 22,312 | 11,288 | 49.9 |

(参考) 自己資本 2022年9月期第1四半期 11,019百万円 2021年9月期 11,138百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年9月期 | | 0.00 | | 7.00 | 7.00 |
| 2022年9月期 | | | | | |
| 2022年9月期(予想) | | 0.00 | | 7.00 | 7.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年9月期の連結業績予想(2021年10月1日～2022年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|-----|-------|-----|-------|-----|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 9,930 | 9.7 | 878 | 4.7 | 830 | 7.6 | 539 | 10.4 | 12.93 |
| 通期 | 19,600 | 9.8 | 1,552 | 1.0 | 1,460 | 4.4 | 933 | 0.0 | 22.38 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|------------|--------------|------------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2022年9月期1Q | 42,866,681 株 | 2021年9月期 | 42,866,681 株 |
| 期末自己株式数 | 2022年9月期1Q | 1,179,303 株 | 2021年9月期 | 1,179,253 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 2022年9月期1Q | 41,687,385 株 | 2021年9月期1Q | 41,659,828 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提条件に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、当社を取り巻く経済情勢、市場動向、競合状況等により、予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (会計方針の変更) | 7 |
| (重要な後発事象) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緊急事態宣言の解除後の新型コロナウイルス感染症新規感染者数が落ち着きを見せる中、外出機会の増加により衣料、娯楽、サービスなど個人消費関連の景況感が高まりました。また、自動車を中心とする製造業でも一部で半導体部品などの供給制約が和らいだことから、原材料の高騰やオミクロン株感染拡大による海外経済の減速懸念はあるものの徐々に回復の傾向にありました。

当社グループが関連する建設業界におきましては、東京都心部での新規着工案件が増加してきており、周辺地域でも大型物流倉庫や国土強靱化に関連するインフラ整備工事がおこなわれています。リニア関連工事などの大型案件も進んでおりますが、陥没の影響による外環自動車道の工事停止や新型コロナウイルス感染症の影響による減収からJRおよび私鉄各社の鉄道関連工事が減少しており、同業他社との競合は依然として厳しい状況です。片や関西地区では新名神高速道路や阪神高速道路などの大型土木工事が予定通りおこなわれ、鉄道工事や建築工事も堅調に推移しています。

このような状況において当社グループは、新たなる中期経営戦略「蛻変（ぜいへん）への挑戦」一年目として変化の激しい時代に対応し、新たなる市場を開拓していくために「新しい力の構築」「人材育成・風土革新への挑戦」「ストロングポイントの深耕」を重点項目に独自開発の建設DXシステムの提案なども含めて新規工事現場からの受注と保有資産の効率的な運用に注力をしてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、4,673百万円（前年同四半期比102.5%）となりました。内訳としましては、賃貸収入が3,272百万円（同100.1%）、その他の売上高が1,400百万円（同108.4%）となりました。

また、営業利益につきましては304百万円（同74.3%）、経常利益につきましては274百万円（同73.6%）、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては173百万円（同72.4%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、22,044百万円と前連結会計年度末に比べて268百万円（1.2%）の減少となりました。これは、売上債権の増加401百万円があったものの、現金及び預金の減少653百万円があったためであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、10,882百万円と前連結会計年度末に比べて141百万円（1.3%）の減少となりました。これは、仕入債務の増加173百万円及び預り金の増加132百万円があったものの、借入金の減少238百万円に加え、未払法人税等の減少150百万円及び賞与引当金の減少141百万円があったためであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、11,162百万円と前連結会計年度末に比べて126百万円（1.1%）の減少となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したものの、剰余金の配当などにより、利益剰余金が118百万円減少したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年9月期の業績予想につきましては、2021年11月10日に公表しました「2021年9月期決算短信」の数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2021年9月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (2021年12月31日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,691,594 | 3,038,026 |
| 受取手形及び売掛金 | 3,488,864 | — |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | — | 3,873,589 |
| 電子記録債権 | 1,159,495 | 1,175,990 |
| 商品及び製品 | 177,715 | 199,272 |
| 仕掛品 | 93,787 | 77,267 |
| 原材料及び貯蔵品 | 197,287 | 199,674 |
| その他 | 753,242 | 731,976 |
| 貸倒引当金 | △113,344 | △127,031 |
| 流動資産合計 | 9,448,642 | 9,168,766 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 貸与資産（純額） | 1,879,181 | 1,916,714 |
| 土地 | 6,990,652 | 6,990,652 |
| その他（純額） | 2,945,970 | 2,904,643 |
| 有形固定資産合計 | 11,815,804 | 11,812,010 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 36,399 | 34,377 |
| その他 | 132,941 | 207,774 |
| 無形固定資産合計 | 169,340 | 242,151 |
| 投資その他の資産 | | |
| 繰延税金資産 | 158,559 | 97,928 |
| その他 | 756,147 | 759,284 |
| 貸倒引当金 | △35,829 | △35,635 |
| 投資その他の資産合計 | 878,876 | 821,576 |
| 固定資産合計 | 12,864,021 | 12,875,739 |
| 資産合計 | 22,312,663 | 22,044,505 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,679,516 | 2,852,598 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,055,668 | 981,668 |
| 1年内償還予定の社債 | 150,000 | 150,000 |
| 未払法人税等 | 190,781 | 40,009 |
| 賞与引当金 | 278,510 | 137,210 |
| 役員賞与引当金 | 18,640 | 4,230 |
| その他 | 1,385,266 | 1,614,877 |
| 流動負債合計 | 5,758,382 | 5,780,593 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 975,000 | 975,000 |
| 長期借入金 | 2,055,330 | 1,891,330 |
| リース債務 | 2,042,802 | 2,046,140 |
| 役員退職慰労引当金 | 38,640 | 39,740 |
| 退職給付に係る負債 | 37,167 | 33,442 |
| 資産除去債務 | 88,573 | 88,869 |
| その他 | 28,254 | 27,112 |
| 固定負債合計 | 5,265,767 | 5,101,634 |
| 負債合計 | 11,024,150 | 10,882,227 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2021年9月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (2021年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,167,551 | 1,167,551 |
| 資本剰余金 | 924,359 | 924,359 |
| 利益剰余金 | 9,418,073 | 9,299,973 |
| 自己株式 | △387,797 | △387,815 |
| 株主資本合計 | 11,122,187 | 11,004,069 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 16,137 | 15,121 |
| その他の包括利益累計額合計 | 16,137 | 15,121 |
| 新株予約権 | 13,190 | 13,190 |
| 非支配株主持分 | 136,998 | 129,896 |
| 純資産合計 | 11,288,513 | 11,162,278 |
| 負債純資産合計 | 22,312,663 | 22,044,505 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 4,561,182 | 4,673,620 |
| 売上原価 | 2,881,720 | 3,057,369 |
| 売上総利益 | 1,679,461 | 1,616,250 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 給料及び賞与 | 455,850 | 469,540 |
| 賞与引当金繰入額 | 122,424 | 122,220 |
| 役員賞与引当金繰入額 | 4,540 | 4,230 |
| 退職給付費用 | 14,858 | 12,062 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 1,250 | 1,100 |
| 貸倒引当金繰入額 | 147 | 672 |
| その他 | 669,798 | 701,531 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 1,268,868 | 1,311,356 |
| 営業利益 | 410,592 | 304,894 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 803 | 1,208 |
| 受取賃貸料 | 11,708 | 10,134 |
| その他 | 4,598 | 5,518 |
| 営業外収益合計 | 17,110 | 16,861 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 28,035 | 29,270 |
| 貸倒引当金繰入額 | 20,000 | 13,000 |
| その他 | 6,427 | 4,669 |
| 営業外費用合計 | 54,462 | 46,940 |
| 経常利益 | 373,240 | 274,816 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 373,240 | 274,816 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 52,206 | 37,525 |
| 法人税等調整額 | 78,541 | 61,079 |
| 法人税等合計 | 130,747 | 98,604 |
| 四半期純利益 | 242,493 | 176,211 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 2,576 | 2,498 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 239,916 | 173,712 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 242,493 | 176,211 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,160 | △1,016 |
| その他の包括利益合計 | 1,160 | △1,016 |
| 四半期包括利益 | 243,653 | 175,194 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 241,076 | 172,695 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 2,576 | 2,498 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

1. 収益認識に関する会計基準等の適用

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当第1四半期連結会計期間より「流動資産」の「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

2. 時価の算定に関する会計基準等

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。